

探究活動が本格的に始動！

前回の報告以降、各学年とも探究活動が進み、グループ編成およびテーマ設定が定まりつつあります。クラスを越えた集団での活動となり、お互いのコミュニケーションがより大切となってきています。今回は、1学年で行われたイノベータ講演会と全国 SSH 発表会について報告させていただきます。

イノベータ講演会(1 学年)

令和2年7月3日(金)6校時、第1回イノベータ講演会を実施いたしました。

講師として共愛学園前橋国際大学学長の大森昭生先生を迎え、今後の課題研究を行うにあたって意義や進め方について具体的かつ詳細に説明をいただきました。

さらに、課題研究の手法のみならず、予測困難な時代に求められる力(課題解決力、協働力、主体的継続的な学び、判断力)や、それを高校生活の中で育てていくという方向性についても学年全員で確認する機会となりました。



生徒の感想から (抜粋)

・研究に大切なのは自分が自分に投げかけた「問い」に対して自ら答えを導き出すことであるという、イノベーションを創出するために必要な力や考え方について学びました。

・今回の講演で、課題研究の全容がわかり、やるべきことが見えてきました。身につけるべき能力を意識しながら探究活動をしていきたいです。

・「結果が望むものではなかったとしても、その過程で得られるものがある」という話が心に残りました。今まで、自分は結果ばかりを気にして難しそうなものは避けてきました。これからは少しでも何かを学ぼうとする姿勢で取り組みます。

全国 SSH 発表会(2 学年)

令和2年度スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会に、本校代表として、2年生5名の生徒が参加しました。例年、神戸の国際展示場で行われる発表会ですが、今年度は新型コロナの関係で、動画を撮影し、オンラインで参加する形式になりました。



参加生徒代表の小池君は、「全国でハイレベルな発表会になると思うが、1つでも賞を取れるように頑張りたい。」と意気込みを語ってくれました。



5分間の発表を撮影している様子